

## 令和8年度都立府中工科高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	円滑なコミュニケーション	社会生活の中や他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や表現力を伸ばす。	社会に出ることを意識し、教員等大人との円滑な意思疎通に取り組む。
社会	社会的な見方・考え方の充実	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認する。 ・資料を読み、論理的に考察する活動を重視した授業を実施する。	・現代の諸問題に関連させて考察する授業を実施する。 ・互いの考察を発表しあい、評価・改善したりしようとする態度を育成する授業を実施する。
数学	考え方を働かせた数学的活動	問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施	問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
理科	科学的な考え方を身に着ける	・生徒実験や演示実験を多く取り入れる。 ・身の回りの物を題材に授業を行う。	・実験を通して得られたデータをグラフで表現したり、考察をする。
英語	英語でのコミュニケーション	情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることができる。	授業内や放課後等、ALTとJET等と英語でコミュニケーションにトライする。
工業 (機械)	「課題解決」につなげられるような実習の充実を図る。	各実習と座学を横断的に繋ぎ、課題を解決するための発見力を伸長する。	ものづくりに対するアプローチを軸とし、多角的視点から必要な材料の選定や加工の選択が行えるように指導していく。
工業 (工業技術)	工業分野を幅広く学び実践する。	工業分野に関する幅広い事象を学び、自学自習する姿勢、課題解決能力の育成を行う。	進路実現のために自己管理と協働して作業する精神を育み、積極的に資格取得等へ挑む姿勢を醸成させる。
工業 (情報技術)	情報を取扱う必要性和その技術	データをどのように処理しているか、ハード、ソフト両面から考察出来る様にする。	座学だけでなく、実習等で取り組み、理論だけでなく実状を理解する。
工業 (電気)	工業の技術者としての、態度・知識・技術を育成する	授業や実習を通して、知識と実践を通じて、電気に関する興味関心を高める。	将来の進路実現に向けて、電気の資格を取得し、即戦力になる人材を目指す。